

第23号  
2004 4

男女共生社会推進センター

# いいきびる

～ 男女共生社会づくり～



特集

チャレンジ支援「女性総合政策研究塾」閉講式  
いいききタウントーク「50市町村座談会リレー」結果報告  
男女共同参画推進員事業を振り返って

# チャレンジ支援「女性総合政策研究塾」



女性総合政策研究塾は、男女共同参画によるふるさとづくり先進地成功事例等からテーマを設け、受講生と市町村が協働して調査研究を行い、和歌山県の地域づくりにつなげようと、昨年9月から6ヶ月間開催しました。

2月14日に“りいぶる”研修室で行われた閉講式では、受講生28名が研究テーマ別に13チームに分かれて、調査研究の成果をまとめ、地域づくりへの提案として発表しました。その内容を要約して紹介します。

## 『互いに支え合い育ち合うまちづくり』 調査先: NPO法人子育て支援コミュニティおふいすパワーアップ(京都市)

私たちは、子育てを互いに支え合い、親や子ども、地域ともに成長していくための支援活動をどう充実させていくかなど、和歌山での子育て支援のあり方について、2つの提案をします。

提案 情報、サービスの全容が把握できるような「ホームページ」の開設。

提案 公共施設や商店街の空きスペースを利用した、子どもや大人、様々な人たちが「気軽に立ち寄り、ともに過ごす」ことができる場所づくり。

江口 幹子さん  
畔柳 英子さん  
古谷 香さん  
(和歌山市)

## 『やさしさにあえるまちづくり』 調査先: NPO法人シャローム(福島市)

私たちは、ノーマライゼーションの理念に基づくまちづくりのため、2つの提案をします。

提案 様々な分野で活動している人たちが、様々な視点から学習・討論する会「車座討論会」をつくり、定着させる。

提案 ボランティア会員登録によるきめ細やかな情報の受信、発信ができるよう専門機関と連携しながら調整できるシステムをつくる。

抜井 貞代さん  
佐向恵美子さん  
仁木 富子さん  
(和歌山市)

## 『地域に根ざした仕事、ネットワークで自らをエンパワーメントしよう』 調査先: NPO法人シーン(SEAN)(高槻市)

私たちは、様々な講座を受け、知識を身につけ活動している県内の多くの女性たちが、能力を生かし、自己実現しながら地域づくりを進めることができるよう2つの提案をします。

提案 県内に女性の能力を生かすためのNPOを設立し、それをネットワークする組織「コミュニティシンクタンク」の創設。

提案 高齢社会に向け、行政との協働により女性の能力を生かし、より快適な暮らしを提供する組織をつくる。

塩崎 智子さん  
忍田 博美さん  
渡辺 友子さん  
(和歌山市)

## 『だれにも住みよいまちづくり、協働によるまちづくり』 調査先: NPO法人みんなのまち・草の根ネットの会(草加市)

私たちは、住民と行政の協働によるまちづくりを進めるため、2つの提案をします。

提案 行政は主導的ではなく、バックアップするという立場で市民活動に関わっていく。

提案 市民一人ひとりが、生活の中から浮かび上がってくる問題を、「自分たちのまち」の問題として気づき、まちづくりに参画するという意識を持ち活動する。さらに、その活動をネットワークし、協働の輪を広げていく。

三國 和美さん  
(貴志川町)  
山下久美子さん  
(岩出町)

## 『地域農業の明日を考える！』 調査先: 杷木町あぐりの会(福岡県朝倉郡杷木町)

私たちは、農家の後継者不足を解消し、遊休農地を活用することにより和歌山のブランド産品を守り育てるため2つの提案をします。

提案 栽培名人を発掘し、その知恵と技術を伝承したり、情報交換することを組織化して次世代へつなげていく。

提案 女性の声を農業に反映させるため、女性自らの手で女性議員を輩出させる。

井沼 和代さん  
上岡砂予子さん  
(桃山町)  
野尻 久江さん  
(貴志川町)

## 『まちづくりにみる市民参加(参画)のステップ』 調査先: 水戸女性フォーラム(水戸市)

私は、水戸市における市民の行政参加の現状を分析し、和歌山県での今後について考えるうえで何らかの示唆を導きたいと考え、2つの提案をします。

提案 地域的課題について、市民自らが解決できる分野は市民で解決し、それが不可能な分野に対しては行政が対応する。

提案 住民と行政が協働することで相乗効果が期待できるが、その際、行政は広く市民を巻き込むような環境づくりとだれもが納得のいくような公開性、透明性を確保することが不可欠。

嶋田恵美子さん  
(美里町)

『子育てって大変だけれどおもしろい』と思ってほしくて

調査先:こころの子育てインターねっと関西(奈良県生駒郡斑鳩町)

私は、子育て現場を通して見た子育ての現状から「親が楽しみながら子育てできたらいいなあ」と思い、子育ての社会化を進めるための3つの提案をします。

提案 親が親として育つための冊子の作成や講座などの開催。

提案 県内の子育てサークルのネットワーク化を進める。

提案 子育て中の親に手をさしのべたりエールを送るなど、地域で子育てを担っていくという機運の醸成。

岡田 恵子さん  
(貴志川町)

『自主的活動組織の地域や行政との協働について』 調査先:カッキークラブ交流会(奈良県吉野郡西吉野村)

私たちは、地域づくりに向けて、NPOと地域や行政との良き連携方法を考察し、2つの提案をします。

提案 伝統芸能や郷土料理等、地域にある隠れた資源を再発見し伝承していくための講座等を、地域の大人が指導者となって活動していけるよう開催する。

提案 公共施設を各種NPO団体が活動できる場所として有効利用する。

川口 卷子さん  
(有田市)  
嶋田 裕子さん  
(吉備町)  
岡本 祥子さん  
(金屋町)

『温もりを感じる まちづくり 世界づくりへ』 調査先:フェアトレードのお店 きひと(和歌山市)

私たちは、「フェアトレード」に多くの人々が興味を持ち、そこから見えてくる様々な問題に各々が目を向け、「心の温もり」などの精神を和歌山の地域づくりに生かすため2つの提案をします。

提案 住民自らがふるさと和歌山をもっと知り、好きになる。

提案 和歌山から温もりのあるもの(特産品等)を全国に発信していくなど、「フェアトレード」の精神をまちづくりに生かしていく。

清水 友さん  
(湯浅町)  
佐藤美代子さん  
(御坊市)

『中高年の男女の交流』 調査先:オパール・ネットワーク大阪(茨木市)

私たちは、現在の高齢社会の中で、高齢者予備軍としてどんな生き方が考えられるのか、地域に埋もれている高齢者予備軍をどう活かしていくのかを考え、2つの提案をします。

提案 地域の人材を発掘し、その知識、知恵を資源として地域に還元するシステムの確立。

提案 中高年自身の精神的な自立を促すプログラムの実施。

川瀬 郁子さん  
(田辺市)  
川口 祥子さん  
(日置川町)

『和歌山子育て・子育てスタイルの魅力的展開』 調査先:いちかわファミリーサポートセンター(千葉県市川市)他3件

私は、地域のニーズに応じた子育て支援の現場の事業運営について考え、和歌山における子育ての魅力的展開について2つの提案をします。

提案 地域の実情に通じ、継続的に関わり、行政や民間との調整ができる人材を適切なポジションに配置する。

提案 窓口を一つにし、一人もしくは数人の基盤となる調整役を育てる。

松本千賀子さん  
(田辺市)

『小さな町の持つ魅力を生かしたふるさと作り』 調査先:(株)ア・ラ・小布施(長野県上高井郡小布施町)

私たちは、「なぜ長野県で最も小さい町に年間130万人もの観光客が訪れるのか」を調査し明らかになったことから、紀南の観光振興のあり方について3つのことを提案します。

提案 住民が自分たちの暮らしを大切に、余分な開発をせずに地域を創り上げていく方法を考える。

提案 地域のため、公共のために活動するというボランティア精神を住民ひとりひとりが学び、認識できるように、啓発の場を設ける。

提案 県の行う人材育成事業が後の地域施策に繋がるよう市町村との綿密な連携。

水上久美子さん  
(白浜町)  
森 玲子さん  
(すさみ町)  
堀本 京子さん  
(串本町)

『五・七・五の俳句でまちづくりを!』 調査先:俳遊館(彦根市)

私は、俳句が子どもの表現力を豊かにし情操を豊かにする手段の一つであると考え、俳句を地域に広めるため次のことを提案します。

提案 町に俳句に親しんでもらうための拠点となる施設を設ける。そのことにより、町の文化振興だけでなく、子どもたちの情操教育に役立つほか、多様な人々との交流を図ることができる。また、俳句を通して素晴らしい自然の魅力を再発見、発信していく。

西萩千鶴子さん  
(串本町)

各チームの報告の詳細は、別途報告書にまとめています。詳しくは“りいぶる”までお問い合わせください。

# これからのまちづくりは男女共同参画で いきいきタウントーク『50市町村座談会リレー』結果報告

昨年7月から県内50市町村を座談会で結ぶタウントークを開始し、今年2月に終了しました。

延べ1,424人に参加いただき、今住んでいる地域の課題は何なのか、これからの地域づくりに何が必要かなどについて活発に話し合っていました。

その中で、様々な課題等が浮き彫りになってきました。その一部を御紹介します。

## 家庭での男女の協力

男女共同参画社会を実現するためには、まず家庭での取組が重要である。家事は家庭生活を支えるとても大切な労働であることを認識し、男女にかかわりなく協力することが必要である。

## 男性の自立、女性の自立

男性も女性も一人の人間として自立し、あらゆる面で等しく責任を担っていくことが大切である。

## 女性の登用

男女共同参画を推進するうえで、地方議員や自治会役員への女性の登用が必要だという意見が多く出された。そのためには、女性自身の意識改革とエンパワーメント、みんなで支援していく体制づくりが必要である。

## 働く場所の創出

経済的安定、地域の活性化、生きがいづくりのために働く場所の確保はもっとも深刻な問題の一つである。企業誘致という意見の他に雇用を創出していこうという提案もあった。

## 健全な子育て環境づくり

少子化と犯罪の多発で、子どもが安全で安心して生活できる環境を望む意見が多く出された。

## 保育サービスの充実

核家族化が進み共働き家庭が増えている中で、学童保育など地域で子育てを支援するシステムが必要である。

## 地域の助け合い

山間部の過疎化、都市部の空洞化が進む中、地域での人と人の結びつきが弱くなっている。

## 福祉サービスの充実

高齢者をはじめすべての人々にとって住みよい福祉のまちづくりが必要である。

## 居場所づくり

子どもの居場所、高齢者の居場所など、様々な人々の居場所づくりが必要である。



KJ法を取り入れたグループ討議



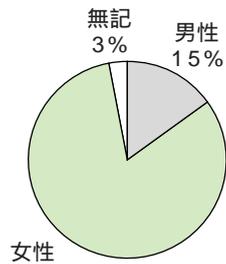
グループの意見を発表する参加者

このタウントークは、各市町村役場の皆さん、男女共同参画を推進するNPOの皆さん、和歌山県男女共同参画推進員の皆さんにより運営いただきました。ありがとうございました。

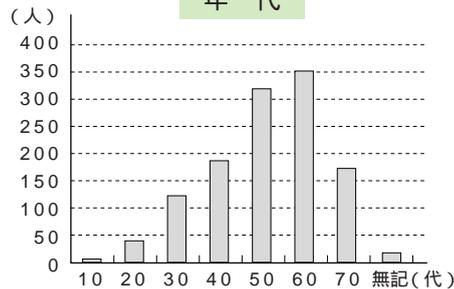
“りいぶる”では、より多くの皆さんに男女共同参画によるまちづくりへの理解を深めていただけるよう、今後もこのような機会を重ねていきたいと考えています。

## アンケート結果から

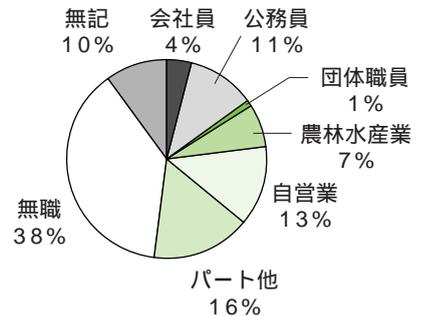
### 男女比



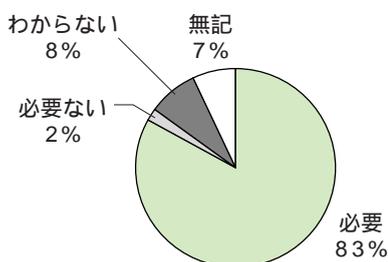
### 年代



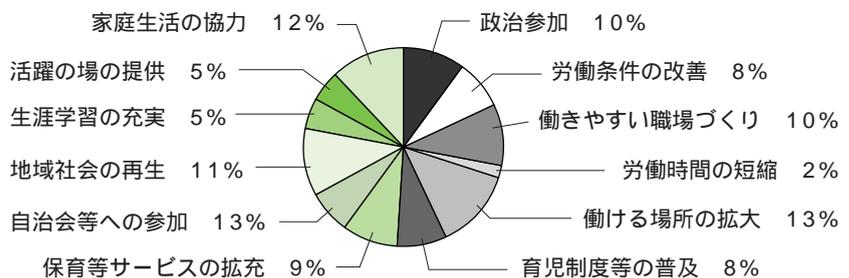
### 職業



### 男女共同参画の必要性



### 男女共同参画に必要なこと



## 男女共同参画推進員事業を振り返って

男女共同参画によるまちづくりを地域に広げていただくために、平成13年度から地域ボランティア「和歌山県男女共同参画推進員」を募集し、平成15年度までの3年間、8つのブロックに分かれて様々な活動を行っていただきました。

それぞれの地域で何をするかは、すべて推進員の皆さんにお考えいただき、主体的な活動をお願いしてきました。短期間の学習にもかかわらず、いろんな視点でいろんな角度から男女共同参画の推進に取り組んでいただき、推進員に登録いただける方も年々増え活動の幅を広げることができました。主だった活動は次のとおりです。

- 講演会、学習会、意見交換会、料理教室等の開催
- 地元の文化行事、自治会、各種団体の集会等での啓発冊子の配布
- 『男女共同参画週間』及び『女性に対する暴力をなくす運動』での街頭啓発
- 地域の意識調査
- 県、市町村及び各種団体主催の広報・啓発事業への協力、etc.

### 15年度の実績

ブロック名	内 容
和歌山	生きがい講座 / 男の料理教室 / 子どもとのふれあい教室
海 草	海草地方の活動グループによる意見交換会 / 市町長訪問
那 賀	講演会「男女共同参画による新しいふるさとづくり」
伊 都	男女共同参画 リーフォーラム 及び橋本市公民館祭りでのパネル展示
有 田	そば打ち体験とミニ講演会
日 高	男の介護教室 / 子どもとのフリートーク「みんなしゃべろら」
西牟婁	知っておくと力になる身近な法律講座 / 村おこし団体との交流
東牟婁	男も女もイキイキ講座



地域の活動グループによる意見交換会



男の介護教室

この事業によって、少しずつですが、人から人へバトンを渡すように着実に男女共同参画意識が広がってきています。推進員の皆さんの草の根の活動に深く感謝申し上げます。

これからは、若者や男性の皆さんに積極的に参加いただける機会をつくり、男女共同参画が自分たちの取り組むべき課題であることを御理解いただくために、具体的な事例を示しわかりやすく説明していければと考えています。

## 地域で活動中のグループ紹介

### ウイズ・ア・スマイル

会長 やな おかよし こ 柳岡克子  
 連絡先 御坊市 297-1  
 TEL 0738-22-1665



御坊を良くしよう、ふるさととして誇りの持てる街にしようと思っただけで集まった笑顔のすてきな若いグループです。昨年3月に発足したばかりでいきいきタウントークを企画運営し、地域の課題を知り、さまざまな体験によって学ぶことの多かった1年でした。

男女共生や福祉、人権に敏感な視点から勉強会や講演会を開いています。今年は市制50周年ということで、これからの活動に御期待ください。

### 子育てサポート キッズクラブ

代表 かわしま 川嶋ひとみ 事務局 たなかじゅんこ 田中旬子  
 連絡先 新宮市新宮 4603-2  
 TEL 0735-22-9529

私たちは、和歌山県男女共生社会推進センター「りいぶる」主催の託児ルーム保育者育成講座を受講したメンバーで、平成12年1月「子育てサポートキッズクラブ」を結成し、今年で4年目になります。

3年目に入った頃から、講演会などでの夜間の集団保育時にスタッフの人数確保が困難になったため、昨年11月に自分達で養成講座を企画・開催し、スタッフの補充をいたしました。

年ごとに依頼件数が増え、保育時間が増加していますが、保育のための核となる施設がまだできていません。

今後の目標は、保育ルームの確保、子育て中の親のコミュニケーションの場づくりで、子育ての気軽な相談所になればと願っています。



## リフレッシュ講座

2004. 2. 3 高野町中央公民館  
2.14 田辺市民総合センター  
2.28 打田町保健福祉センター

心豊かに過ごすためには、ストレスをなくすることが重要です。そのための方法を学ぶリフレッシュ講座を、Pick スポーツグループ、インストラクターの平井邦子さんを講師にお迎えして開催しました。ストレスや健康管理に関する講義の後、受講生の皆さんには、ストレッチやエアロビクスで汗を流していただきました。ここでは、講義のポイントを紹介します。

### なぜ、体を動かすことが必要なのか

文明社会は、便利さと引き換えに体を動かすことを少なくしました。人間が体を動かすことは、健康を維持するために大切なことですが、残念ながら今は、意識して体を動かさなければならない時代になっています。

医学が発達し、世界の長寿国になった今、老いても自由に自分の意志で自分の行動を決める生活をするために欠かせないのが健康です。その健康を支えるためには、体力が必要です。体力はある方がいいということはいまでもありませんが、健康を保つためには適度な運動で十分ですし、意識すれば生活の中で十分取り入れることができます。

### ストレスと運動

現代社会ではストレスの種類が増え、複雑になってきています。運動はストレス解消の一つの方法です。運動すれば体温が上がり、脳の血行が良くなり、精神が落ち着くと言われていましたし、運動をすることで気分転換を図ることもできます。同時に、運動はストレスに立ち向かう能力を高め、体力を向上させるとともに、自信と満足感を得られることにもつながります。

### 正しい姿勢

健康管理のため、正しい姿勢を心がけましょう。姿勢の基本となる背骨の中心には、全身に脳の指令を伝える神経が集まっています。正しい姿勢を保つことは、背骨を正常な状態（S字カーブ）に保つということ、全身

の神経活動がスムーズに行われ、脳や内臓の働きも良くなります。

また、適切なS字カーブが内臓を定位置に保ちます。もし、S字カーブが狂えば、内臓を圧迫し機能低下を招くことにもなりかねません。この大切なS字カーブを保つためには、腹筋や背筋などの筋力が必要です。

誰でも老化とともに筋力は衰えてきますので、意識してトレーニングすると良いでしょう。腰痛や肩こりの予防にもなります。

### 健康管理のための運動

運動はエネルギー消費を増やし、体脂肪を燃やすだけではなく、生活習慣病の予防にも有効です。摂取カロリーのバランスをうまく取り、体重の管理をしましょう。肥満度はBMI指数（体格指数）で表すことができますので参考にしてください（下囲み）。

健康づくりのためには、年齢や体力によって異なりますが、心拍数110～130/分の強さの運動を最低1回10分以上、1日30分以上心がけるようにしましょう。

自分の好きな運動でストレス解消・健康づくりを目指してください。

$BMI = \text{体重} (kg) \div \text{身長} (m) \div \text{身長} (m)$   
この値が25.0以上だと肥満です。  
22.0前後が、最も病気にかかりにくいと言われています。

発信

## わがまちの男女共同参画

このコーナーでは、県内の市町村の男女共同参画行政担当課室を紹介します。

野上町総務課 竹谷陽子

### 男女共同参画の取り組みについて

男女が性別にとらわれず、それぞれの個性や能力を十分発揮する男女共同参画社会を実現するために、男女が共に男女共同参画に関する理解を深め、実践していくことが重要だと思います。

我が町には推進条例や基本計画はありませんが、今後推進委員さんや町民の皆様の協力を得ながら啓発事業等に一層の取り組みを図っていきたいと思っています。

### 今年度の啓発事業について

平成15年度は役場職員及び町議会議員を対象にし

た男女共同参画についての講演会を開催しました。毎年開催している町民文化祭の際には、啓発冊子等を配布しています。

今後も出前講座等を活用しながら啓発事業に取り組んでいきます。

### 担当者からひとこと

私自身、男女共同参画という言葉を担当になって初めて知りました。これからは、男女共同参画社会づくりについて、より理解を深め、まず、身近なところから、男女が共にパートナーシップを発揮できるような職場や家庭づくりを心がけていきたいと思っています。

## 男女共同参画フォーラム in わかやま開催のお知らせ

男女共同参画推進本部、内閣府、和歌山県の主催による「男女共同参画フォーラム in わかやま」を、今夏の世界遺産登録が期待される高野山において開催します。多数の方のご来場をお待ちしています。

**日時** 平成 16 年 7 月 7 日 (水)・8 日 (木)  
**場所** 高野山文化センター (高野山会館・高野町中央公民館)  
和歌山県伊都郡高野町高野山 486 番地  
**テーマ** 未来へのチャレンジ 高野山から

**入場無料**

一時保育、手話通訳  
あります(要予約)

**第 1 日目** 7 月 7 日 13:30 ~ 16:30 (受付 12:30 ~)

**オープニング** 声明 (高野山大学火水会)

**男女共同参画推進本部報告**

**基調講演** 「夢を形に ~人生のチャレンジ~」 俵 萌子さん (作家、陶芸家)

**対談** 「これからの時代と社会 ~男女共同参画の視点から~」

俵 萌子さん

榎畑 直尚さん (和歌山県男女共同参画審議会会長代理、和歌山県教育委員)



俵 萌子さん

**第 2 日目** 7 月 8 日 9:30 ~ 11:30 ( は 9:00 ~ )

**ワークショップ**

女人道を歩きながら考える男女共生社会

講師：山陰加春夫さん (高野山大学文学部教授)

手仕事と女性 ~ 桧紐の織物体験をとおして ~

講師：高野町軸山森林公園インストラクター

私のチャレンジ ~ 世界遺産登録に向けて ~

講師：小野田真弓さん (熊野古道を世界遺産に登録するプロジェクト準備会代表)

**事例報告及びパネルディスカッション**

「生活者の視点が地域をつくる ~ コミュニティビジネス、スモールビジネスで地域を豊かに ~」

コーディネーター：向口睦美さん (和歌山県男女共同参画審議会会長)

**お問い合わせ先**

〒 640・8585 和歌山県環境生活部男女共生社会推進課

TEL 073(441)2510・FAX 073(441)2514

Eメール e0315001@pref.wakayama.lg.jp

**男女共生社会推進課**

いんぷおめーしょん

**Information 和歌山県男女共同参画審議会委員募集!**

男女共同参画審議会は、和歌山県男女共同参画推進条例で設置している機関です。

男女共同参画の取り組みを推進していくための重要な役割を担う審議会委員を県民の皆様から募集します。

男女共同参画の推進に関心があり、建設的な意見をお持ちの方のご応募をお待ちしています。

1. 募集人数：2人

2. 委員の業務：会議等への出席・・・年3回程度、和歌山市内、平日の昼間開催予定

会議へ出席されたときは、旅費(県職員の旅費規定に準じる)等を支給します。

3. 任期：2年(平成16年6月~平成18年5月予定)

4. 応募資格：平成16年4月1日現在、満20歳以上で県内在住又は在勤若しくは在学の方

国又は地方公共団体の議員、職員、県の非常勤職員、賃金支弁職員及び外郭団体の職員は除きます。

5. 応募締切：平成16年4月30日(金)必着

6. 申込方法：パンフレット内の審議会委員申込書に記入し、「男女が安心して社会参画できる環境づくりのために」と題した小論文(1,600字程度)を添えて県庁男女共生社会推進課へお申し込みください。

パンフレットは、県庁男女共生社会推進課、県男女共生社会推進センター、各振興局、各市町村男女共生担当窓口で配布します。

7. 選考と決定：提出された申込書と小論文により選考を行い、結果は全員に通知します。

詳しくは、県庁男女共生社会推進課までお問い合わせください。

TEL 073-441-2510 FAX 073-441-2514

e-mail e0315001@pref.wakayama.lg.jp

HP <http://wave.pref.wakayama.lg.jp/danryo/>

## 点字版啓発冊子ができました！

ご好評をいただいている下記啓発冊子の点字版を作成しました。  
希望される方は、“りいぶる”までお問い合わせください。



名称：すすめよう男女共同参画  
内容：家庭、学校、地域、職場での身近な問題を取り上げ、男女共同参画の必要性をわかりやすく解説しています。



名称：しらべてみよう！男女平等  
内容：男女平等について、探偵団の気分で楽しく学習できるよう工夫した子ども向けの啓発冊子です。

## 男女共生社会づくり講座・イベント

### アサーティブトレーニング講座（全4回）

開催日時	講座内容	講師	開催場所	募集人数	募集締切
5 / 29(土) 13:00 ~ 15:00 15:10 ~ 17:00	家庭・地域・職場などで人間関係の悩みを抱える方、また、よりよい人間関係を築きたいと思っている方などを対象に、自分も相手も大切にしながら自己表現する方法を学びます。	藤原 暁子 さん (フェミニストカウンセリング 堺 カウンセラー)	“りいぶる” 女性研修室 (和歌山市)	女性30人 (先着順)	5 / 25(火) 一時保育
6 / 5(土) 13:00 ~ 15:00 15:10 ~ 17:00					5 / 18(火)

申込方法 電話、FAX、Eメールで、住所、氏名、年齢、電話番号を“りいぶる”までお知らせください。  
受講料 無料 メールアドレス e0315012@pref.wakayama.lg.jp

## りいぶる相談室から

自分を大切にするために...

“りいぶる”では、特別相談として『不登校の子をもつ母の気持ちを語る会』を実施しました。フェミニスト・カウンセラーの藤原暁子さんをファシリテーターに迎え、不登校の子を持つ母親が、子どもではなく、自分自身の気持ちに焦点を当てて話し合いました。

「子どものためにも頑張る。」と言われ頑張ると今度は「お母さんが立派すぎると子どもはしんどい。」と言われるたり、「子育ては母親の責任。」と味方であるはずの夫に責められたり、今まで誰にも言えなかったそのときの苦しい気持ちを率直に話し合いました。

子どもの不登校の原因・背景はさまざまであっても、「母として」「妻として」女性には共通の問題が背景にあることを痛感します。

“りいぶる”では、女性が抱える様々な悩みを受けとめ、自分らしく生きるお手伝いをしています。

一人で悩まずにまずお電話ください。

総合相談

毎週月～土曜日 [面面相談] 9:00～17:30

[電話相談] 9:00～20:30

女性のためのカウンセリング

毎月第1～4金曜日 13:00～17:00 [要予約]

女性のための法律相談

月3回 13:00～16:00 [要予約]

実施日についてはお問い合わせください。

相談専用電話 073 - 435 - 5246



発行・企画

和歌山県男女共生社会推進センター  
**りいぶる**

〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2  
県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛9F  
TEL(073)435-5245・FAX(073)435-5247  
URL <http://wave.pref.wakayama.lg.jp/danjiyo/>

開館時間 午前9時～午後8時30分

休館日 毎週日曜日・国民の休日(祝日)、年末年始(12月29日～1月3日)